

地域医療復興計画(394億円) ※基金のみ

【自治体病院等の統合・再編等による医療資源の再配置】

(単位:千円)

No	事業名	予算額(基金充当額)					計	事業の概要
		H24	H25	H26	H27			
					当初	今後予定		
1	① 気仙沼地域医療施設復興事業	138,300	104,851	1,052,624	4,803,587	8,386,208	14,485,570	
1-1	気仙沼市立病院の移転新築	138,300	0	222,058	2,115,662	7,140,720	9,616,740	施設の老朽化や狭あいが問題となっている気仙沼市立病院について移転新築し、施設設備の充実による機能向上を図る。
1-2	公立志津川病院の新築	0	62,277	825,566	2,612,725	1,095,688	4,596,256	東日本大震災で全壊した公立志津川病院を新築する。
1-3 1-4	南三陸町保健センターの新築	0	42,574	5,000	45,200	149,800	242,574	東日本大震災で全壊した南三陸町志津川保健センター及び南三陸町歌津保健センターを新築する。
1-5	拠点薬局の整備	0	0	0	30,000	0	30,000	地域の薬局で共有できる無菌調剤室や、救急夜間帯の処方箋応需及び在宅診療に関する調剤等を行う機能を有する薬局を整備する。
2	② 石巻地域医療施設復興事業	17,702	406,013	1,322,436	7,115,430	1,794,970	10,656,551	
2-1	石巻市立病院の新築	17,702	47,420	781,478	6,540,230	1,613,170	9,000,000	東日本大震災で全壊した石巻市立病院を新築する。
2-2	石巻市夜間急患センターの新築	0	0	30,000	210,000	0	240,000	東日本大震災で全壊した石巻市夜間急患センターを新築する。
2-3	石巻市雄勝地区医療施設(仮称)の新築	0	0	23,000	277,000	0	300,000	東日本大震災で全壊した雄勝病院に代わる医療施設の規模・機能を検討の上、医療施設の整備を行う。
2-4	石巻市寄磯診療所の新築	0	0	0	40,000	0	40,000	東日本大震災で全壊した石巻市寄磯診療所を新築する。
2-5	女川町保健センターの新築	0	0	0	18,200	181,800	200,000	東日本大震災で全壊した女川町保健センターを新築する。
2-6	石巻港湾病院の移転新築	0	358,593	487,958	0	0	846,551	東日本大震災で津波の浸水被害を受けた石巻港湾病院について、高台への移転を検討の上、新築する。
2-7	拠点薬局の整備	0	0	0	30,000	0	30,000	地域の薬局で共有できる無菌調剤室や、救急夜間帯の処方箋応需及び在宅診療に関する調剤等を行う機能を有する薬局を整備する。
3	③ 仙台地域医療施設復興事業	572,268	172,868	511,290	1,599,670	2,137,839	4,993,935	
3-1 3-2	基幹災害拠点病院(仙台医療センター)の機能強化	0	0	0	256,200	597,798	853,998	重篤救急患者を受け入れる救命救急センター機能を拡充し、建物は大規模災害時にも対応出来る免震構造として新築整備する。
3-3 3-4	高次救急病院(仙台市立病院)の機能強化	467,662	0	197,400	0	0	665,062	仙台市立病院を移転新築するに当たり、災害時の診療継続及び医療提供に必要な耐震性や医療ガス配管、非常用発電機設備、井水利用設備等災害拠点病院及び救命救急センターの機能として必要な施設を整備する。
3-5	特定機能病院(東北大学病院)の機能強化	0	11,110	25,890	800,000	1,163,000	2,000,000	特定機能病院である東北大学病院において、老朽化している中央診療棟を新築し、機能向上を図る。
変更	ドクターヘリ基地病院の整備	0	0	27,000	410,770	0	437,770	東日本大震災の経験を踏まえ、ドクターヘリの導入に向け、格納庫や給油設備等の整備を行い、救急及び災害発生時の体制を整備する。
3-6	二次救急病院(宮城病院)の機能強化	0	0	0	0	175,000	175,000	東日本大震災で被災した宮城病院の外來治療棟を建て替えし、二次救急病院の機能の維持及び強化を図る。
3-7 3-8	災害拠点病院(坂総合病院、東北厚生年金病院)の機能強化	0	111,000	40,000	0	0	151,000	坂総合病院内に、検査機器、器材庫、備蓄倉庫、医薬品、発電設備等の設備を備えた「災害地域医療・包括的在宅ケア支援センター」を整備する。また、東北厚生年金病院の非常用自家発電機を拡充整備し、大規模災害にも対応可能な環境を整備する。
3-9	透析医療(仙台社会保険病院)の機能強化	0	0	0	100,000	0	100,000	東日本大震災時において数多くの透析医療が出来ない事態に陥った経験を踏まえ、県内の人工透析医療の中心的な役割を担っている仙台社会保険病院の透析医療部門を拡充・強化する。
3-10 3-11	保健センターの新築、設備整備(亘理町、塩竈市)	38,555	32,550	0	0	200,000	271,105	東日本大震災で被害を受け使用不能となった亘理町保健センターを新築する。また、塩竈市保健センターを災害時の医療救護活動拠点として整備する。
3-12	名取市休日夜間急患センターの整備	0	6,300	211,000	22,700	0	240,000	施設の狭隘が問題とされている名取市休日夜間急患センターを拡充整備する。
3-13	眼科医療支援車両の導入	66,051	11,908	10,000	10,000	2,041	100,000	被災直後に米国から空輸され貸与を受けたMissionVisionVanと同様の車両及び車両に搭載する医療機器を整備する。

【地域医療連携体制の構築・強化】

No	事業名	予算額(基金充当額)					計	事業の概要
		H24	H25	H26	H27			
					当初	今後予定		
4	④ 医療連携、情報基盤ネットワーク等整備事業	0	645,475	650,000	1,081,953	1,222,572	3,600,000	
4-1	地域医療連携支援センターの設置・運営	0	39,690	300,000	360,310	0	700,000	県全域において、各種分野におけるICT技術を活用した医療連携体制を構築するための活動の拠点となる施設を整備する。
4-2	医療福祉情報ネットワークシステムの構築	0	605,785	350,000	721,643	1,222,572	2,900,000	ICT技術を活用し、被害が甚大であった気仙沼、石巻、仙台医療圏を中心に、各種分野における医療連携が可能なシステムを構築する。ただし、遠隔医療(テレパソロジー、テレラジオロジー)によるシステムの整備など、被災地の医療機関が内陸部の基幹病院(東北大学病院、仙台医療センター等)との連携が必要な事業については、当該二次医療圏を超えた範囲でシステムの整備を行う。

【医療人材に向けた対策】

5	⑤ 人材確保・養成事業	1,654,995	813,501	575,952	770,425	529,126	4,344,000	
5-1	医療人材の確保(流出防止、招へい含む)	310,995	813,501	575,952	770,425	529,126	3,000,000	被災地における医療復興を早期に実現するため、医師・看護師等の医療従事者を雇用する医療機関に対し助成を行う。また、医療機関再建に向けた人材確保制度として、医療従事者招へい、確保に対する助成制度を創設し、震災により壊滅的な被害を受けた病院等の医療スタッフの確保(流出防止、招聘)に努める。
5-2 5-3	医学生修学資金の貸付	1,344,000	0	0	0	0	1,344,000	震災対応医師確保対策として、医学生への修学資金貸付制度を創設する。大学卒業後、県が指定する医療機関で一定期間勤務した場合には償還を免除する制度とすることにより、医師確保が困難な病院への医師配置を行う。
合計		2,383,265	2,142,708	4,112,302	15,371,065	14,070,716	38,080,055	

計画掲載額	39,373,538	運用益	110,261	余剰財源	1,403,744
-------	------------	-----	---------	------	-----------

※余剰財源については、コスト高騰対応分として計画変更を想定。

※なお、平成26年度の決算確定等に伴い、さらに余剰財源が発生した場合には、「ドクターヘリ基地病院の整備」に優先配分することとする。